

布団丸洗いサービス

心身の状況や家族構成等で寝具を干すのが困難な高齢者を対象に、6月10日11日の両日に実施し、55軒の方に106枚の寝具の丸洗いをご利用いただきました。また、事業実施時には各町の役員の皆様に高齢者の状況把握も実施してもらいました。

朱一学区には昔からの街並みが多く残り、「ご利用された多数の方が道幅の狭い住宅で生活され、袋小路となつて居る住宅で生活される方も何人かおられました。もしも近隣に火災等が生じた場合に避難が困難な方が多くおられることがわかります。

今後も、当事業を通して日々の生活が少しでも快適に過ごせるだけでなく、緊急時にも安全に過ごせる街づくりを努めていければと思います。

利用者の声 夫の意見で一度利用しようと思いましたが、3階から2枚の敷布団を降ろしてもらえ、夕方には真っ白で柔らかくフワフワの布団が届き、お姫様のような気持ちで眠りにつきました。



朝に役員と業者とで布団を集める

すこやかサロンの実施

実施日 毎月2回土曜日に実施しています。

参加状況 毎回15〜20人の参加があり、昼食をはさみ、笑いの絶えない半日を過ごしていますので、お気楽にご参加ください。

特色ある催し 学生さんの落語、ファーマシー薬局の協力による健康測定会、ヤクルトの協力による健康セミナー

節トシの実施

実施日 毎月2回土曜日に実施しています。

参加状況 毎回10〜15人の参加があり、簡単なストレッチ等を行い、元気に過ごせるよう体力の保持に努めています。

60歳以上の方ならどなたでも参加できますので、私たちが一緒に体を動かしましょう。お待ちしております。

朱一夏まつり

盆おどり十ゲーム・屋台

8月4日に朱一小学校校庭で夏祭りが開催されました。天候に恵まれ、小学生からお年寄りまで、大勢の学区の皆様に参加を得て、夜店・屋台での飲食やゲームコーナーでの遊び、皆で盆おどりを楽しむ等を通して、学区民の交流の輪が広がりました。

催し内容
夜店・屋台：焼きそば、かき氷、フライドポテト、フランクフルトなど
ゲーム：ジョイント、ヨーヨーつり、グラウンドゴルフ、ストラックアウト
わなげ、スマートボール、エアくじ
協力機関 小学校、少年補導、女性会、PTA、おやじの会、体振、自治連合会、社協、交対協、消防団、三条商店街他



朱雀大路

ちびこプール開設

中京区内では唯一の児童公園内での幼児のプール設置

どんな内容ですか

昭和47年から多くの児童公園内で開設されたプールで、小学校へ通う前の幼児が夏季期間水遊びができます。

現在の開設状況は

利用者が減少した等により次第に開設されなくなり、今では中京区内では当公園のみが開設しています。

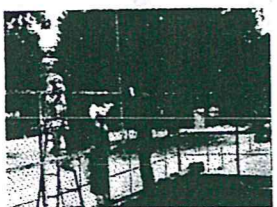
今年の実施状況は

7月18日から8月20日まで、ほぼ毎週火、木、土、日曜日の午後1時〜4時まで開設し、延15日、延326人の

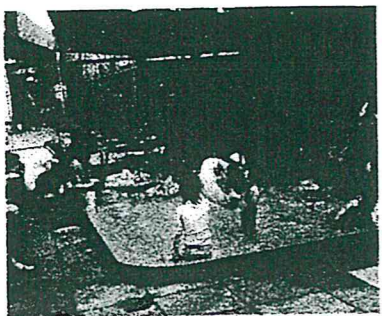
子どもさんにご利用してもらいました。

今後の取組予定は

子どもの数が減り、自然環境の変化や防犯上の問題等から、公園利用者が減少していますが、今後各種団体(社協、民生、女性会、自主防災会等)が協力し、夏季期間の幼い子の安全な遊び場として継続できるように願っています。



開設準備



利用風景

利用者の声

毎年2人の子どもがちびこプールにお世話になっていますが、毎回いつも明るい雰囲気、子どもも夏休みになると、「今日はちびこプールやっている?」と聞くほど、とても楽しみにしています。

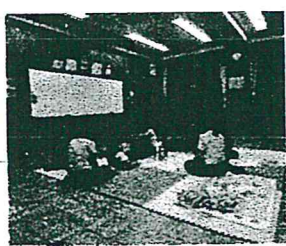
8月号紙面の構成
1面:子育て関係行事等報告
2-3面:災害に強い朱一学区を目指す
4面:行事報告と今後の行事他

きつぱあくーに朱一

どんな内容ですか 月1回土曜日に朱一コミュニティサロンで開設しています。午前10時30分から正午まで主に0〜2歳の子どもさんと保護者の皆様に来所してもらい、おもちゃで遊んだりお互いの子育ての悩みを話し合ったりする、交流の機会を設けています。

子育てに関する課題 次の課題等があり困る。あが子育てに関する課題に対応しています。
「待機児問題」 保育所の利用を希望しても利用できない状況
「児童虐待問題」 親子が孤立し我が子に暴力を加えたり十分な養育を行わない

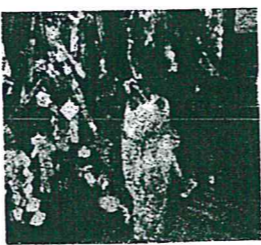
交流の輪の広がり 平成26年度から民生児童委員会と社会福祉協議会が協力し開設しています。お気軽にお立ち寄りいただき、子育て中の保護者の皆様の交流の輪が広がることを願っております。



ふれあい七夕茶会開催

7月2日に小学校、女性会、社会福祉協議会、スクール21の共催で、七夕茶会が開催されました。小学4年生やすこやかサロン利用者が作成された笹飾りと、4年生

が各自の願いを記した短冊を、2本の大きな竹に飾り付け小学校の玄関にたてかけました。また、4年生のみんながお運びをしてくれた和菓子と抹茶をご参加の皆様楽しんでほしい、会話が弾み笑顔が絶えない半日でした。みんなの願いが叶えられるといいのね。



みんなの願から 友達と仲よしでいられますように お花やさんになれますように 家族が元気でいられますように ラクビーがサッカー選手になれますように おこづかいがふえますように みんなが平和でなかよくなれますように

今後の行事

- 敬老茶話会** 9月14日に盟親にて実施。対象:70歳以上独居、75歳以上、身体の不自由な方
- 敬老記念品贈呈** 9月16日に77歳、88歳、100歳とされる方に敬老記念品を贈呈
- 配食サービス** 10月6日に実施。対象:75歳以上独居、75歳以上高齢世帯、80歳以上の方
自己負担:1人200円
- 困りごと相談** 高齢独居等の方を対象に住居の簡単な修理等を行います。随時受付実施
- ミニサロン実施** 第三日曜日に壬生第二公園の集会所で実施 自己負担:1人200円

災害に強い街朱一学区を目指して

災害への取組みとしては、①公助（行政等が主体）、②共助（地域等での取組み）、③自助（各自での備え）があります。朱一学区が実施している共助の一環として次の取組みがあります。

総合防災訓練実施

緊急時に備える

区民が主体となり災害に強い街朱一学区を目指し、小学校校庭で182名の参加のもと、「朱一学区総合防災訓練」が実施されました。

実施日時 6月20日(日)午前9時～午前10時40分

どんな訓練なの 古川自主防災会会長挨拶等に続き、町内単位で4班に分れ、**消火訓練**(消火器使用やバケツリレー)、**避難車体験**(地震の揺体験)、**災害器具実演**(毛布と竹でタン力作成等)、**避難所開設訓練**(各団体の役割確認)実施
講評(中京消防三上署防統括課長) 次の二点のお話がありました。

①多くの市民は**災害を他人事のように思いかう**だが、災害はいつ起こるか分からないことを自覚することが大切で、周りの方にも教えてあげてほしい
②災害が発生した場面に**救助されるのではなく、救助する方に回れる方が多くなる**ことが重要である

災害に強い街づくりに向けて 阪神淡路大震災発生時に、がれきの下敷きから救助された**8割弱の方は、家族も含め近隣の方に救助**されています。こうした経験と防災訓練を踏まえ、普段から互いに声かけを心掛け、緊急時に助ける方に回れる方が一人でも多くなるように、災害に強い街をつくっていくにつなげるのが判ります。訓練を契機に皆で災害に強い朱一学区を築いていければと思います。



自主防災会会長挨拶と防災訓練風景



朱一地域ケア会議

関係機関の連携強化

高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるため、**高齢者に関係する団体等が一堂に会し**、相互の理解を深め関係を密にするために開催される会議ですが、今年度第一回の会議が次の通り行われました。

実施日時 6月18日(火)午後2時～午後3時40分

何処で 小学校「ミニミニサロ」

参加団体は 朱雀包括支援センター、中京社会福祉協議会、中京区健康長寿推進課、朱一民生児童委員会、朱一老人福祉員、朱一社会福祉協議会18名
どんなことが協議されたの

①昨年度の振り返り：5回開催した会議での協議概要及び支援を要する対象者への具体的支援を実施した内容の確認や、今後も会議を重ね**ネットワークが広がりかつ強まるといふ必要**がある等の課題を確認した

②グループ討議での主な意見：多くの団体がそれぞれ**高齢者の情報を有しているが、個人情報取り扱上の関係で統一することは難しい**。そのため支援が必要な状況にある方に複数の関係者が訪問するようになり、**対象の方がごまごまされる**。また、**関係者の訪問等を拒否する方が結構おられる**。その上、**高齢者に関わる方々が高齢化されており、若い方の関与が望まれる等**

高齢者も含め住み良い街朱一学区になるためには
①防災訓練等を通し**学区としてまとまる**ことも災害に備えておくこと
②各町内で**支援の必要な方を把握しておく**こと
③関係する**団体や機関が普段から連携を密にし**、緊急時に迅速に対応できる体制をしておくことが大切です。



2グループに分かれ意見交換

「高齢者見守り事業」について

高齢者の状況把握他

事業実施の背景 平成26年4月開始

災害時の被害者の多くは高齢者であり、地域で高齢者が安全に暮らせるように、見守り活動の充実が求められるため

事業の概要 安心して住み続けるため

社会福祉協議会が関係機関の協力を得て実施

【何をを目指すのか】 緊急時に自力で**避難困難な高齢者を把握し日常的な見守りと、緊急時に可能な支援活動**を行う

【どのような方が対象なの】 原則75歳以上の方で、ご本人の心身の状況や世帯の状況等から世帯員のみでは災害時に**避難困難な状況にある方**

【具体的に何をしてくれるの】 各町内の社会福祉協議会担当者(福祉委員)の皆様には次のことをお願いしています。

①**対象者の状況把握**：6月実施の布団丸洗い事業実施時と11月の年2回実施(右ページの名簿雛形による)

②**見守り活動**：状況把握時や道で出会った際の声掛け等 ③**支援活動**：緊急時に可能な範囲での支援活動

活動を通してわかったことは 意義と今後の課題

多くの町で役員が毎年交代されるため、**高齢者の生活状況**をある程度把握されている方が各町に複数おられます。災害時に被災された多くの方が近隣の方に救助されており、支援の必要な方の状況を把握された方が町内に複数おられることは意義あることと思います。なお、把握された情報は個人情報であり慎重な取扱いが求められます。

高齢者の状況把握名簿雛形				世帯	心身状況	見守	避難補助	備考	町内会
町名	部名	氏名	性別						
				0.同居	0.健康	0.無	0.無	※見守りに配慮すべき点、対象者の要望等 ※新規登録の方は生まれ年を記入ください →医師の月と日は記入不要です	0.加入 1.未加入
				1.独居	1.病気等	1.要	1.要		
				2.高齢世帯	2.入所・長期入院				
東西町	中部	東山一子	女	1	1	1	1	独居で杖使用のため見守り等必要	
東西町	中部	西山一美	女	1					
東西町	中部	南山一郎	男		1			病弱だが子ども家族と同居	
東西町	中部	北山京子	女						
東西町	中部	上山二郎	男	2	1			虚弱だが夫婦で助け合い生活	
東西町	中部	上山八重	女	2				健康で夫の世話をしている	
東西町	中部	中山三郎	男	1				町内会未加入	1